



THE Y's Men's Club of Atami of Glory



Service Club of YMCA

2024年6月 NO476号

国際会長主題 Ulrin Lauridsen

今月の聖句

アジア地域会長主題 利根川 恵子

「輝かそう、あなたの光を」

東日本区主題 山田 公平

未来の為に今、学びと気づきを
未来の為に、自信を育み、真の
喜びと出会う。

主は高くいまでも、低くされ
ている者を見ておられます。遠く
にいまでも、傲慢な者を知って
おられます。

詩編 138章6節

「変革の為にひかりとなろう」

富士山部部長主題 榎本 博

「NEO富士山部」

熱海グローリーワイズメンズクラブ会長主題

小野田 政弘

「笑顔で挑戦し、変えるものは変えましょう。」

2024年6月例会プログラム

日時 6月26日(水) 18:30~21:00

会場 KKRホテル熱海

受付 宝田 昌孝 大瀧 実

司会 菅谷 正

1部

・開会点鐘 会長 小野田政弘

・聖句朗読・開会の祈り 小林 隆

・ワイズソング 全 員

・ワイズの信条 大瀧 峰子

・会長挨拶ゲストビジター紹介 会長 小野田政弘

・書記報告 書記 勝又 隆吉

・委員会報告 各 委員会

・誕生日・結婚記念日祝い 司会者

・感謝状贈呈 会長・書記・会計 司会者

2部 定時総会 今期役員慰労会

・会長挨拶 会長 小野田 政弘

・食前の祈り 勝又 隆吉

会食

・委員会報告 各委員会

・スマイル 親睦委員会

・出席・スマイル・Y基金報告 担当委員会

・閉会の言葉 大瀧 実

・閉会点鐘 会長 小野田政弘

5月例会報告

■ 広報委員会 神杉 彰

記念式典に向かって前進です



祝事風景

小野田会長の挨拶は、
「神杉ワイズの海岸ク
リーン作戦に参加させ
ていただきました。非
常にいい活動と考えて
います。よい事は継続
する事と思います。皆
さん宜しく願います。
。」と有りました。

今回の大きなテーマとしては、10月20日に行われる熱海グローリーワイズメンズクラブの40周年記念式典についての検討でした。会場はフジヤホテルに決定しました。テーマは手造りという形で進めたいという意見が多く、イメージは決定しました。そこで大事なものはキャッチコピーです。皆さんからの案も募りましたが急に決定は不可能で、次回の役員会議に持ち寄って決定する事となりました。次にやるべきことは役割分担です。開催にあたっては多くの問題が山積している中でキーワードは一致団結です。我々は少数だからこそ出来る事が武器であると感じました。

在籍者12名(セニア会員3名)

スマイル・YMCA基金

クラブ概要

出席者

7名

スマイル

7,000円

会長 小野田政弘

ゲスト

0名

スマイル累計

135,000円

副会長 綾野 憲夫

ビジター

0名

YMCA基金

2,101円

書記 勝又 隆吉

メネット

0名

YMCA基金累計

30,694円

幹事 菅谷 正

出席者合計

7名



OFFICE

YMCA熱海センター

出席率

77%

静岡県熱海市上宿町18-9

0557-82-8521

月例会 毎月第4水曜日 18:30~21:00 小野田会長携帯 090-7039-8275

活動報告

ワイズメンズクラブ東日本大会に参加して

■ 親睦委員会 加藤 博

十勝クラブの意地の演出でした



大晩餐会

6月1日、東日本区大会に北海道帯広に行かせていただきました。思えば五年前、代議員を終えて来年は十勝に行きたいと思いつつもコロナで全て流れた北海道行きでした。今回はスタッフの小林ワイズとは別行動、小野田会長以下の精鋭5人衆は羽田早朝便にのり午前中には帯広に入る事が出来ました。眠い!眠い!大会は全てに渡って十勝クラブの意地が見えました。先ずは登録時には、凝ったネームプレートがゲストを歓迎してくれました。又、休憩時には十勝銘菓や牛乳などが無料で振る舞われゲストの心をくすぐってくれました。大会のアトラクションも帯広YMCA幼稚園に通っている子供達がパフォーマンスを繰り広げるなど手作り感にも溢れていました。

オッと思わせてくれたのは三島クラブが出席率100%で表彰台に上がったことです。三島クラブの岡田会長はご主人同伴で来道されており晩餐会のテーブルでも一緒にご主人様を紹介していただきました。大晩餐会は300人の大宴会で食べきれない飲みきれない程のお料理が提供され、飲食中のアトラクションも次々と有り、最後には何があったか忘れるほどでした。しかし圧巻は最後の20分間、70名ものよさこいソーランのメンバーがフロアーの中に入ってワイズの面々を指導しながら踊るなどしっかり記憶に刻まれました。さすが北海道、やる事がデッカイドウでした。

ワイズメンズクラブ東日本区大会に参加して

■ 親睦委員長 菅谷 正

行きも帰りもハプニングでした。



熱海交番

ドタバタ劇は起床から始まりました。寝坊から時間がなく慌ててバイクで駅に向かいましたが、バイク置き場には時間が無いため、車道にバイクを止めて何とか合流できました。その結果、熱海警察よりバイクを移動するようにと命令がありました。北海道にいる事を話し、移動できない趣旨を了解頂き、交番の駐輪所へ移動して頂きました。大会は盛大に行われ翌日は十勝・帯広観光を楽しみました。今度は帰りの強行軍では飛行機が遅れてしまい、更に帰りが遅れる事となりました。横浜駅から熱海に向かおうとしたら、小田原が終点でした。したがってタクシーで帰るしかありません。

そして無事?に着いたのは夜も更け午前2時でした。早速、交番に向かいバイクの御礼をし自宅に帰る事となりましたが、朝酒ともいえる酒を飲み就寝しました。旅の道中にハプニングが在りますとその旅の思い出となりますが、今回のハプニングには参りました。確かに思い出に残ることは確かです。

ワイズメンズクラブ東日本大会の企画について

■ 東日本区所長 小林 隆

綿密な準備作業が大成功の近道でした



代議員会

2024年6月1日開催の第27回東日本区大会の準備は4年前に始まりました。大会ホストの十勝クラブは、山田敏明理事のもと2020年6月6日十勝東日本区大会がコロナ禍により中止、そのリベンジとなりました。このため、十勝クラブの意気込みには熱いものがあり、「とかちに行かなきゃワイズじゃない。さあとかちに行こう!」をテーマに山田敏明元理事が大会委員長となり準備を始めました。2024年1月より本格的な準備作業が始まり、会員に向けた案内状名簿の作成と発送。

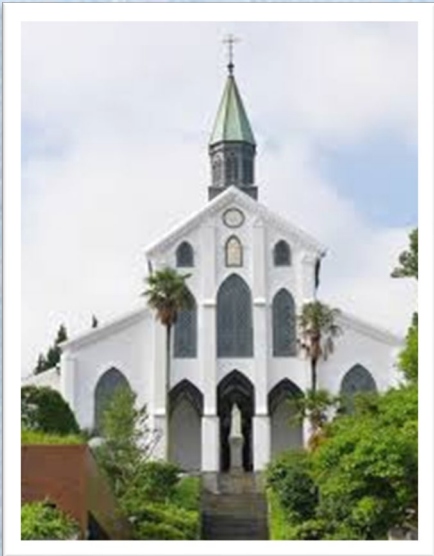
3月に入り、東日本区キャビネット（理事・書記・会計・事務所長）と十勝クラブとの10回以上の分刻みの大会スケジュールの検討会。また、十勝クラブは開催施設との十数回に渡る綿密な打合せと参加者名簿の作成。4月からは、奈良傳賞や理事表彰等の各種表彰先300件を5回以上の表彰会議にて決定。今回の大会は、従来2日間開催を1日開催にしたことから大変な苦勞となりました。東日本区大会は凄いエネルギーを必要とします。東日本区としては、できるだけ何処でも開催できる手軽な大会を目指して改革を進めようとしています。十勝クラブの皆さん、大成功おめでとうございます。

活動報告

沼津クラブ長谷川ワイズによる卓話

■ 副会長 綾野 憲夫

「竹内俊朗氏の足跡」パート2



長崎大浦天主堂

日本においてキリスト教が力を伸ばし、社会的影響力が強かった時代が2回ありました。それは明治になってからのキリスト教解禁に伴うハイカラ文化との一翼を担った時代と戦後の進駐軍によってもたらされたアメリカ文化への憧憬の時代です。

竹内氏はこの後者に当るわけですが、氏がクリスチャンであったことはワイズの仲間ほとんど知りません。亡くなった藤間さん（プロテスタントで熱海教会所属）の奥様、ツルさんにも伺って見ましたが初耳とのことでした。

竹内氏とキリスト教の関係は、長崎での二プロさんとの出会いがきっかけだったと思いますが、大浦天主堂の教会に通い2年間の学びの後にカトリック教徒として受洗されました。幼い頃からの海外生活でキリスト教はなじみ易いものだったはずで、自叙伝では内村鑑三に影響されたように記されていますが、内村鑑三は札幌農学校を母体とする札幌バンドの中心人物で無教会主義者です。

このグループの信仰スタイルは個人主義的な傾向があり教会での礼拝などの行動様式でなく心のあり方を重んじていました。その意味で敢えてクリスチャンであることを表明しない信仰スタイルになったのかとも思います。必要最小限の範囲でしかクリスチャンであるということを明かさない。これは中野学校伝来の処世訓であるのかもしれませんが。

竹内氏が関わった事業は、熱海での旅館業はほんの極一部で、アメリカでのレストラン事業や八百半の海外事業など、海外での仕事が多かったようです。その意味で日本人でありながらキリスト教文化を理解して英語が話せることは取引先の信頼を得る大きな武器になったことでしょう。

我々のイメージは、一望閣の仕事は女将任せで本人は道楽のワイズ活動に励んでいた人という低次元の憶測から抜けられませんが、長谷川さんによると旅館経営は番頭さん任せで、本業は国際ビジネスマンだったとのことでした。

富士山部第3回役員会の報告

■ 書記 勝又 隆吉

変革が要求されています



会議状況

薫風に生ビールの泡が懐かしい候となりました。ワイズメンズクラブの活動も次期への準備に入って参りました。富士山部長の榎本ワイズも最後の行事ご苦労様でした。その最後の行事、第3回富士山部、役員、評議会が5月26日沼津クラブのホストでプラザヴェルデで開催されました。当クラブからは小野田会長、綾野次期会長、そして私の3名が参加しました。会は予定通り34名の出席者で始まりました。24年度の活動方針、役員の構成等の報告が有りました。休憩をはさんで評議会がに移りました。同じ議題を同じメンバーで繰り返すことになります。そこで熱海グローリーの綾野ワイズから何故同じメンバーで同じ議題を2回繰り返すのかと質問が出ました。

納得のいく回答はありませんでした。慣例は必ずしも正しいものでは有りません。変えるものは変えないと駄目です。世の中は変革が超スピードで進んでいます。今後の富士山部の在り方を皆で議論して進化する必要があります。

青少年の健全育成の為に

■ 広報・会報委員会 神杉 彰

しっかりと支えて行く準備が出来つつあります



ヒップホップダンス風景

練習の成果を多くの人に見てもらうことが自己肯定感につながり、また、役割を自覚し、タスクをこなしていく、そのような舞台がこれからも数多くあれば子の未来がより明るいものになるのではないかと思います。そんな思いもあり、今年の熱海グロリークラブはこの子たちの背中をそっと支えられるそんな存在でありたいと願います。その第一弾としてYMCA東山荘での合宿を企画し、来年度の事業計画に盛り込んで貰う為に役員会で議論して頂きました。

祝 事

- Happy Birthday
該当者有りません
- Menettes Happy Birthday
該当者有りません
- Wedding Anniversary
該当者有りません

静岡YMCA 俳句の会

5 月句会

恥らひつ葉に隠れるるや朴の花

亀山

遠来の雪解け富士が美しい

正

今年またいつものところ白椿

政弘

筍の明日は我が背の高さかな

おさむ

にわか雨通りしあとや芋の葉に

正子

行く春や窓いっぱい山の峰

隆吉

杣人のいつもの昼に山笑う

のり夫

■ 書記 勝又 隆吉

期日 2024年6月5日(水)
場所 静岡YMCA熱海センター

会長挨拶

会長を拝命してから一年を迎えようとしています。最終の役員会ですが、私自身が出来なかった事を来年度に期待したいと思います。次期に託すことは情けなく思っていますので精一杯頑張りたいと思います。

議題

- ・2024年度 役員表彰を実施する。
 - ・記念品の贈呈 10,000円の商品券
 - ・感謝状の贈呈
- ・40周年記念式典について
 - ・開催のチラシを作成する
 - ・キャッチコピーは「やれる事は無限にある」に決定。6月18日の校正会議に提案する
 - 最終例会の6月26日に完成
- ・次期事業計画予算案
 - ・収入・支出1,945,200円で決定
- ・DBC紀ノ川クラブの訪問
 - ・7月28日開催、5名参加
- ・富士山部役員会、評議会の開催
 - ・組織の合理化を計る為に企画提案する
- ・ヒップホップダンスのサマーキャンプを実施する。

2024年7月合同初例会予告

期日 7月22日(水)
場所 KKRホテル熱海
受付 大瀧 実
司会 菅谷 正
聖句朗読・開会の祈り 小林 隆
ワイズの信条 大瀧 峰子
食前の祈り 神杉 彰
閉会の言葉 勝又 隆吉